

1990年3月号

1990年3月5日発行(毎月1回5日発行)

No.156

あふあて

発行人/..... 発行所/あふあて出版部
定価/400円 振替口座/..... あふあての会 電話/.....

ひとりごと

かわいけれどにくたらしい
楽しいんだけど腹が立つ
毎日毎日 繰り返して
一体、いつまで続くのよって
思うんだけど
一生、続くわけもない

いつか 今のこの時が
遠いところでキラキラと
輝いているだけの
思い出になつてしまうことも
わかつているから

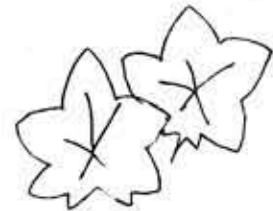
だから、今をもう少し
ほんの少しだけ大切に
おだやかなお母さんに
なつていたいと思うのですが

詩 堀
イラスト 長代



— 特集 — 広島って どんな所？

今月の編集は
広島県内の会員
の担当です。



広島という所を知らない人は、ほとんどいないと思います。被爆地広島、八月六日は全国が目向けられる町、広島・・・。ところで、みなさんの広島に対するイメージは、一体どういふものでしょうか？ 私たちは、広島県内に住む会員ですが、全員広島出身ではありません。そこで、生まれ育った所ではないけれど、現在ここに住んでいるという私たちの目から見た「広島」という町のことを考えてみたいと思います。

共同質問

1. 広島に住んで何年？
2. 広島に来る前に思っていた広島のイメージは？
3. 広島に住んでみて感じることを。

広島について思うこと

佐伯郡

結婚の為、宝塚から広島に嫁いできて、三年がたとうとしています。昨年三月、長女を出産し、妊娠中に偶然、雑誌で「あふあんの会」を知り、広島で友人を増やしたくて資料を請求し、おかげで、広島在住の会員の方々とお知り合いになりました。広島という地は、私には、保守的で少々閉鎖的だという印象です。毎年八月六日には全国が目が「原爆」という事で集まります。国際平和都市でありながら、特筆すべき国際的交流は少なく、反面原爆資料館は、修学旅行生達で賑わっているのです。痛々しい爪痕だけが、益々大きく取り上げられ、そこから新しい一歩を踏みだせずにいるように感じます。広島は文化不毛の地だという声もあります。

新しい事を受け入れようとしなない感じなので、自分から外へ出ていくことはましてできないのでしようね。子育てに関して感じるのは、親はこうするものだ。という枠からはずれるようなことをすると疎外されてしまうのです。しかし、その枠のなかだと、皆さん暖かく受け入れてくださいます。

自由な発想というか創造性に欠けているのです。私は、子供にこそ、これが大切だと思いい親が保守的で閉鎖的な考え方だと、子供もそうなるってしまうのではないかと思います。創造性豊かな子に育てたい私は、枠にとらわれず、色々なことを吸収したいのです。

(子供一人 十一ヶ月)

1. 三年
2. 原爆
3. 閉鎖的

佐伯区

今、広島では、原爆ドーム保存のための工事が始まっている。この費用の一部は募金でまかなわれているのだが、目標額一億円に対して三倍近いお金が全国から集まっている。広島は悲劇を、戦争を二度と繰り返さないためにドームを保存したいという気持ちで募金額に表われているのだらうけれど、私には、何やら、ドームさえ残しておけば戦争反対が表明できる、もう日本に原爆が落ちることはない、とにかく日本は平和だらうというように日本のことだけを考える気持ちもあるのではないかなと思えてくる。

日本人はあまりに原爆にとらわれすぎている気がする。確かに原爆の恐ろしさは焼け残ったドームを見れば実感できる。被爆された人々の苦しみは私の想像を超えるものだらうけれど、戦争の悲劇は広島や長崎の原爆だけではない。原爆の落とされた日本だけが被害者だという気持ちが強すぎると思う。アジアの国に対しては、日本は加害者の立場にあるはずなのに。

先日、被爆者援護法が参院で可決された時、運動に関わっていた人の、「この法は被害者だけのものではなく、日本人全体の、いや人類全体のためのものです」という言葉が心に残った。誰もが、ことに国がこのような気持ちを持って、ドームの保存にかける熱意と費用の同じ量を、日本人の被爆者のみならず、

広島に強制労働に来ていて日本人と同じように被爆した韓国の被爆者の人たち（彼らは今までに日本の政府から何の補償もないときいている。）に対してへの精神的・物質的援助にかけるべきではないかと思う。

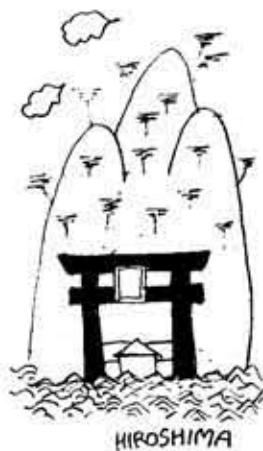
(子供二人 五才と三才)

1. 八ヶ月。
2. 気候温暖で食べ物おいしい住みやすい地方都市。(予想に反して冬寒く、物価が高く、魚もあまりおいしくない。かきが大好きなので、新鮮なかきをたくさん食べられるのはうれしい。)平和教育や反戦運動がもっと日常的に行われていると思った。(新聞やテレビのニュースでは戦争や平和をテーマにしたものが今まで住んでいた名古屋より目につくが、普段の生活では戦争問題等を話しあったりすることはない。)

平和都市ヒロシマ その他編

呉市

1. 瀬戸内海のとある島に昔毒ガス工場がありました。どんなガスが作られていたかは知りませんが、たくさんの方が働きに行ったそうです。食糧難のこの時代に、お米のおにぎりが出たそうです。きつと実験もしたでしょう。実際に使ったでしょう。そして、ここで働いていたために後遺症の残った人達がいまいます。今では資料館が出来、たくさんの方々が島に住んでいるそうです。大久野島が島に面したとある都市。入り組んだ地形が有利と、たくさんの方々が作られ、近くでは人間魚雷の訓練をしていました。そ



して、たくさんの方々が海に消えて行きました。今、ここには米軍の弾薬基地があり、海上自衛隊がいて、その上湾内に弾薬備蓄基地を作った近くの島に米軍の住宅地を作ろうという話を持ち上がっています。呉市と江田島を結び、アウシュビッツ記念館を作る事になりました。ところが町長さんの独断で遺品は返還、新町長さんが早速おあやまりに行くそうです。

黒瀬町

んー難しい。私の住んでいる呉市の端っこには、大きな地主さんが今でも幅を効かせています。話も「ヘイワ」なんて口にしなない。敢えて言わないところが「ヘイワ」なんでしょう。

(子供二人 三才と一才)

1. 四年目
2. 原爆の落ちた所、宮島など瀬戸内海は美しい、みかんとカキともみじまんじゅう
3. 気候が良い、交通マナーが悪い、閉鎖的

佐伯郡

広島だけじゃないんじやないかなあ……？ 広島に来て四年、テレビを見るにつけ、新聞を読むにつけ、そして八月六日が近づいたに、常に私が抱えている疑問です。

平和都市広島なんていう言葉だけでなんとなく納得してしまいたい。もちろん平和を求めて活動している人がいることもわかっています。その一部分でもかまいません。こんな人たちがいるんだと少しほっとしたりします。でもそれは一瞬のこと。私の前に常に見えてくるのは、平和都市という言葉を借りていう広島のこと。その理由はいろいろです。平和都市なんてまるでよその土地とばかりうみたいに思ってしまうけれど、あくまで日本の中のひとつの場所、物質的に不自由はないし、物価だって安くはない。それから風習とかしきたりとかが大切に、できればよその人は入って来ないでみたいという閉鎖的な雰囲気。いつも人類の平和を考えている人ばかりじゃない、言い替えば、自分さえよければいいという人だところかな。(要するに私の愚痴です)とこのように何を言ったところで私はしよせんよその人。その立場は動きません。でも娘は広島の人。彼女はこの町をどう語るようになるのでしょうか。昨年の八月六日、テレビの中で広島に住む外国人が言っていました。広島は被害者という立場から立ち直っていないのだと。やけに的を得ていると思ってしまう私です。そうとばかりも言えませんが、私が危惧しているのは、娘が被害者の立場という面だけを自分の中に取り入れ

て育ってしまうこと。そうならない為の私の役割は何だろうと考えます。そんなことを常に意識しながら回りに目を向けていたいと思っています。何も考えずに生活すれば、ここ広島も単なる一地方都市。でも何かを考えていたい私です。

(子供一人 二才)

1. 四年
2. 別に何もありませんでした。とにかく住み慣れた所を離れて遠くに行くという不安のみで、行く先がどこだろうと当時の私にとっては関係なかったような気がします。
3. 全体的に見ると、広島のことを指して平和都市と言えりのかかわりません。個人的には、ひと言で言えば閉鎖的。

福山市

広島、ひろしま、ヒロシマ……何が頭に浮かんでくるだろう。広島県の東端・福山市に住んでいる私は考えた。

そうそう、福山へ引越してきた当時は、NHKの地方ニュースで「カーブ情報」が流れるのには驚いてしまった。(私の出身地である関西では一週間をNHKでとりあげることなんてないものだから)それと、お好み焼きも関西風とは一味違う広島風。食べ比べてみる価値はあるよ。

軽い話題は置いて……

広島について私にとっては、やはり戦争や平和について考えるきっかけを作ってくれた所。広島について聞くと、すぐ原爆のことを思うか、べる人が少なくないと思うけど、原爆について

去のことじゃないのよね。

最近、脱原発の講演会で、原子力発電と原子爆弾とが全く同じ原理で作られているというのを知った。つまり原発があるというところは、爆弾を抱えているのと同じ事なのだ。その時の講演者(久米三郎氏)が広島県内を回って見て、県内の人達が割と無関心でいるのに驚いたそう。そういえばそうだなあ。福山の人達からもあまりそういったことについて聞かないものね。

原爆を含めて大久野島(毒ガスを作っていた)や江田島などの戦争の歴史の跡。そして核廃棄物が持ちこまれようとしている現在。広島について「人間が生きていく」ということを真剣に考えていける所、又、考えなくてはならない所……と私は思う。

(子供二人 三才と一才)

1. 二年十月
2. 正直言って、あんまり深く考えなかった様な気がします。(もう忘れてしまったのかな?)うーん、広島カーブとか宮島とかが、思いうかんだかな?
3. 私は福山に住んでいるので、広島(市)について遠いなあ。県内の意志の疎通が難しい。電車とか、県民の意識なんかも東西で分けられている、という感じ。(福山なども、広島へ行くなら岡山、又それを通りこして大阪、東京へ目が向けられている。)



スで、「今日、〇〇が平和資料館を訪れました」とか「平和公園で〇〇の団体が座込みをしていました」と言うのを耳にし改めて、私は広島に住んでいるんだということを認識させられるという始末……よほど自分で意識していないと日常生活のなかでは「被爆地広島」を感じることができないと思いました。私の普段の生活からはなかなか見えない人々例えば、今でも原爆の後遺症で苦しんでいる人々、広島を悲劇を二度と繰り返さないようにと様々な運動している人々……私に何かできるというわけではありませんがそういう人々の存在を認識できて初めて広島市民になれるような気がします。温暖な気候のなかで瀬戸内海の海の幸に恵まれ、食住には申し分のない生活。これこそ平和な証拠なのかも……と新米広島市民の私は思うのでした。

(子供一人 三才)

1. 一年二ヶ月
2. 牡蠣のおいしいところ。原爆が、落とされたところ。
3. 国際交流に積極的に取り組んでいる人々が多い。支店経済の街なので、転勤族が多い。

広島市

広島へ引っ越しすると決まってあー随分田舎へ引っ込んでしまふなあ、東京がこれじゃずつと遠いし、ヤクザが多くて怖い街というイメージが強くて実の所へ平和の街なんてことは少しも頭をよぎらなかった。住み始めの頃は一応に観光客気分て原爆ド

ーム、資料館、平和公園と回った。慰霊碑の消えることのない火を見るとやはり恒久平和を願わずにはいられないと手を合わせた。がすぐに邪心のある私は、ここが八月六日椅子をたくさん並べてTV中継する所だな。平和公園の中には数多くの碑がありそれぞれに千羽鶴やお水が供えてある。刻まれた名前などを見ていくと胸が締めつけられる様でつらいけれどそれ以上の感情はなく(ないという)おかしいが、もちろん二度と戦争は繰り返してはならない、核兵器廃絶を訴えるものではあるが何の行動も起こしていない。自分に対するジレンマに陥っているばかりでは何の意図もない。TVでダイインしている人々たちを見ると彼らこそ行動で表現している立派だと思ふと同時に地道に平和運動をしている人たちのことを知るほど今まで自分が知らなすぎたことが恥ずかしくなる。折しも被爆者援護法の参院通過、呉港内の弾薬保管問題、サハロフ博士の来広と死去と、平和を願う人達をとりまくニュースが数多く、今後の情報にも関心をもち、自分にできる平和行動は何かをみつつけようと思っている。

(子供二人 四才と一才)

1. 一年半
2. ヤクザの街
3. 転勤族の多い所、気候が温暖でいい。

広島市の東京での体験から

東京に来て加入している生協の運営委員会に広島・長崎の被爆写真が回ってきたことが

広島市

「広島へ転勤なんだってね。やぐさが多いところよ」という友人のことばを聞き不安と、新しい土地に対する希望とを胸に抱き、ここ広島にやってくるのが一年とちょっと前。最初は、何かと東京と比較してしまいがちで、入って来た私でした。しかし、住めば都とはよく言ったものです。地方都市の便利さに加えて「国際都市広島」とまで言われていることもあり、あちこちに国際色が見え隠れしています。これはひとえに「被爆地広島」が世界的に有名なことを物語っています。

「広島」と言えば平和記念公園、原爆ドーム、平和資料館を思い浮かべる人が多いと思います。かく言う私もこの地へ来る前は、広島は街全体に、「平和」とか「原爆」の雰囲気を感じていたんだらうなあ……と八月六日の平和記念式典をテレビで見ながら思っていたものでした。しかし、来てみてびっくり。街並はにぎやかだわ、バスとタクシーが、やたら多いわ、観光客が引きつりなしにやってくるわ、私の想像以上に都会だったのです。

平和記念公園も市民の憩いの場的な公園で通学の通り道にする学生の姿あり、近くの会社のOLがお弁当をもってお昼を食べに来る姿あり、お花見の季節になると少しでもいい場所を取ろうとしてカビニールシートがあちこちに敷かれていて、ご丁寧に縄まで張り巡らしてあるものや、見張りの人が一人ぼつんとそこで昼寝している姿も見かけられます。そういう光景をここ一年見慣れたせいか、私が持っていた広島のイメージはことごとく崩されてしまいました。地元テレビのニュー

ある。産直市の時にこれを展示して原爆ドームの保存のための募金を募れということだった。募金集めのために被爆写真を展示する、という感覚にもひっかかるものを感じたが、これをおたくの班会で使ったって?と聞いてみたときのある運営委員さんの反応には、頭にきた。「とんでもない」というのだ。「どうしてとんでもないんですか?」ときくと、「だって、そんな暗いもの誰も見たくないでしよう?」という答えが返ってきた。

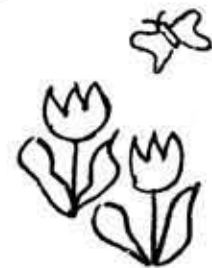
保守王国であると同時に何事につけ軽い広島だが、原爆とか被爆に対する一般的な常識の程度は、他の土地——例えば東京とは、やっぱり全然違っていると思う。血縁をたどれば何人かの原爆犠牲者がいる、学校に行けばクラスに何人も被爆二世がいる、というのが普通の広島。また、被爆の事実をぬりこめようとする大きな圧力に抗してきた「伝えよう」とする強い意志のみのりも、十分とはいえないとしても、ある。少なくとも広島では「被爆者」は私たちに比べて自分と切り離された、排除の対象でもなければ、憐みの対象でもない。

だが、「あの日」の被害のみをいう「平和祈念」がむなしきことも確かだ。惨禍を招きよせたものが何なのか、同じような愚行を繰り返さないためにはどうしなければならぬのかを真剣に問いつめることなしには、広島人も東京人もともにまた「あの日」に向かつて進んでいくしかないだろう。

(子供一人 二才)



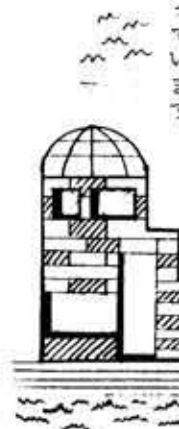
あんふあんて
から
あんふあんてへ



親も子ももっとグループになれたら！

相模原市

会員リストの中に、ご近所の生協の委員の方の名前を見つけた。彼女はグループを作ろうと頑張ったけれど、家が遠かったりしてうまくいかなかったとか。私たち「かぜっこクラブ」はすぐ近くで活動していたけれど、もっぱら口コミでメンバーを増やしているから、彼女の所までは伝わらなかったようです。歩いたり、自転車で行ける距離に幼児が入会できるサークルがあったら、安心して遊ばせる場所があったら、それらの情報が子育て中の全てのお母さんにいきわたったらいだらうな。市内各所の児童館がそんな役どころを引き受けてくれるといいけれど、児童館は幼児に対して門戸を閉ざしている状態です。今は、安心して遊べる場所も無く、母親以外の大人と接する機会も少なく、母親がふんばって世界を広くしてやらないと子どもに友だちもできません。グループに入会したてのお母さんが「子育てって疲れるばかりでつま



らない。早く動めにしたい」とボツリ。私も一年半前までは、第一子を抱え近くに同月齢の友だちも無く、同じイライラママでした。毎日少し遠い公園に通い、その常連十人ほどと子育ての話に花を咲かせているうちに、定期的に活動するグループを作ろうというこ

突然、難病に見舞われて

町田市

昨年の夏に私はやっと長い入院生活から開放されました。クッシング症候群（ホルモンの病気）という難病に突然襲われ精神障害（極度のうつ病）、糖尿病、高血圧、筋力低下（立てなくなる）、顔はムーンフェイスとい

つて丸いお月様のように腫れ、お腹は脂肪がつき妊婦みたいになってしまったのです。私は入院中の一年間に人が一生かけて味わうような苦しみを精神的にも肉体的にも味わったように思います。「私は丈夫だから関係ないわ」なんて思っているあなた、私もこの病気になるまでそう思っていたひとりでした。それが、突然、子どもの面倒もみられなくなり、家事も一切できなくなったのです。子どもは泣いてかわいそうだったけど保育園に、母と夫は交替で病院通い。病院も何度か転院しました。本当に家族には迷惑をかけました。生命保険はかけておいたので少くとも金銭だけは救われましたが。

義父が入院、手術した。主人はひとりっ子。義父は時々逢う私には一応気を使っていた。病気があまりよろしくないらしい。それを察して義父は荒れに荒れた。主人は仕事が夜中二・三時というのに病院に顔を出し、私は妊娠七ヶ月のお腹と二才の息子をひきつれて二週間に一回は顔を出す様にした。それも主人の実家に一泊というオマケ付きで。手術の三日前に不安から義父は我々身内にどなり散らし、あまり仲良くない義母に「お前はどやせ血がつながってないから、心配なんかしてないんだろ？」と言った時は端で息子の相手をしていた私はグサツときた。確かにそうかも知れなかった。私は友人に「自分の親だったら三日に一度は顔を出すけど」と言っていたし、それから妙に心配そうにするのもバカらしくなった。今は息子とお腹の子が大事であり、自分の体だって大事なのだ。しかし、日に日にやっばり心配していく主人を見てみると夫婦って他人なんだなと思う。年末年始は義父も一時退院。一日でも長く実家で皆と一緒に過ごしたいと思っても早く主人の実家から離れたくないし、お腹をつき出して息子を追いかけながら食器洗いくらいはしなくちゃいけないでしょう、それだけじゃ済まないでしょう。わかってはいるだけにいろいろ憂うつな九〇年の暮あけなのだ。

私の九〇年の暮あけ

大田区

入会半年後のハガキのアンケート
みんな、配られた会員リストはどうしている？
●「お便りなどの連絡はしていますか？」
●「他の人から問合せがあったら必ず返事をしてね。リストは多めに活用しよう。」

★会員リストの利用は？

- あまり利用できていませんがリストの中に知人をみつけてびっくり。（宇佐）
- 近くの人が二人いたのでハガキを出したが返事が来なかった。なんか、さみしかった。（北上）
- 利用していない。だってコワイんだもん、知らない人にデンワするの。（木浪）
- リストに子どもの通う保育園の方がいたりして会話にまた広がりがあった。（浅野）
- 意外に近い所に会員がいるんだあと思いつつ特に行動を起こさなかった。（岡本）
- 全く未知の人にTelするのはかなりの勇気がいってひとりでもできなかった。年齢や子どもの数などわかれればしやすいかも。（安部）
- 近況報告から
- 公園で知り合った仲間とクリスマス持ち寄りパーティをした。料理や子育てのことに話が咲き泣く子やけんかする子もいたけれど、けっこう子ども同士遊んでくれた。ただの公園友達に終わらないようにしたいのだけれど、ちょっとむずかしいかな。（原）
- 三才になった子ども達もだいぶききわけがつくようになり、着々と自分の活動領域を広げつつある私。バイタリティーの増大と反比

例して夢見る乙女心を失いつつあるように思われ、夫との人間関係が今一つしっくりいかないものを感じています。皆、こんなことって感じるものでしょうか。（桑田）
●息子も七ヶ月を過ぎ、ようやく出かけ易くなったので今後多いに社会とのふれあい（オパー）を親子で持ちたい。（安部）
●子どもが七ヶ月になり私の方もようやく精神的なゆとりがでてきたところ。今は週一回翻訳学校に通うのを生き甲斐にしている。そろそろ他のこともできそうな気がしてきたので積極的かつ能動的に「あんふあんて」に参加したい。（弥永）

★とりあげたい特集のテーマ・企画

- 夫の家事育児参加をテーマに大々的にアンケートなんぞして特集したい。（木浪）
- 子育てだけで自分の人生を終わらたくない。そのためにはこの三十代の間に自分自身をステップアップさせよう。とジタバタ。そんな「ジタバタ」について誰かと話せる場所をつくりたいというのがテーマ。（兵頭）
- 子どもと一緒に楽しめる場所、子ども用品を中心としたリサイクル情報。（岡本）
- 一日二十四時間では足りない。髪の毛ふり乱しているうちに時のみか経ってしまった。今私たちが失なってしまったもの、どーやってとりもどすか？（浅野）
- 夫の両親との同居での子育ての仕方の意見の違い。経済面、家事面、精神面、どのよう

にしてのりきっているか。（杉山）
●興味があるのは皆さんの日課。朝何時頃起きて家事・育児をどのような手順でこなし、

病めるときも健やかなときも

— その3 —

国分寺市

ただ話を聞いて欲しいのです。これからの人生はどうなるんだらう？ どうしたらいいんだらう？ いいようのない不安をこぼすにすることで救われるような気がします。どんなアドバイスも絶対というものはないのです。仮にこれなら絶対という方法があればどんなに楽なことか。だから彼の人生に一番近い私が自分で決めてゆくしかない。

「今日一日の心配は今日一日で足りる、明日のことは心配するな」そう自分に言い聞かせながらふとんに入るのです。職場にいたあいつが一番気がやすみます。どんなことがあっても働こう。（どんな職業でも働くことは大切な心のささえだ）一年契約の不安定な身分でも、いまある確かなものはこれだけだという思いが強くありまして。「はやく、はやくなおつて」と彼に訴えてみても、「俺は病気がやまない。よくもキチガイ病院なんかに入れたやつだ。」不動産屋に売れかけて家を買い契約してしまいたい。手あたり次第に買い物を。酒を飲み歩く。彼が手にしたキャッシュカードを預かるようにも説得できないのです。本人に病気がという自覚がないことには治療も始まらないのです。医者に対して、私に對して、親に對して被害者意識が増すばかり。いま、私がしなければならぬのは彼の信頼を得ること。私にできるのは彼を信頼して待つこと。

(つづく)

さんの連載文を読んで

東村山市

さんの「病める時も健やかな時も」を興味深く読んでいます。とても人ごととは思えない。家族の不安さが目に浮かぶ様です。しかし、十二月号の「病気の原因」については疑問に思います。彼の親にしても「さ」ににしても「病気を個人的な問題として抱えることは個人を切り捨てる傾向につながり危険だ」と思います。病気が「精神的に未熟な彼自身の問題」だとしたら、どうすれば病気が治るのでしょうか？そして、「未熟な彼」の妻は成熟しているのでしょうか？誰しも病気になる可能性はあり、誰しも未熟な部分を持つていると思います。

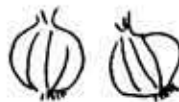
十一月号では「事の起りはアメリカ出張」とのべられていたが、そうした環境の変化が病気の誘因と私は思うのですが。実は、私の夫も数年前職場で集団的「いじめ」にあい、「心因反応」を起して休職を余儀なくされた経験があります。そして、職場村八分に對して提訴し現在も続いています。その過程で「心因反応」は治ってしまいました。病気が治る」ということは病気が発生した自らの環境を自らの力で変えていくことだと私は思うのです。それには周囲の人間の働きかけが必要不可欠だと思います。病気を個人の資質の問題とし、患者を病院に閉じ込めてしまうことは一時的に症状が治まっても同じ環境にもどればまた発病すると思えます。さんの人生にとって、夫をふり払っても得たい仕事や人生とはいったい何なのか考えさせられました。

覚えていますか

チエルノブイリの

原発事故を!?

その37



ベビー雑誌では原発はタブー！「天皇に戦争責任はあると思う」と言った長崎市の本島市長が銃撃されて、多くの人は「ウヨクはコワイ」と感じたと思います。そして同時に「思った事が言えない世の中なんじゃないか」とも思ったのではないのでしょうか。でも、私たちの身近なところにも、思った事が言えない世界があるのです。

先月号で木浪さんも言っていたけれど、子連れママのおしゃべりの輪の中で原発の話なんかすると浮いてしまいます。そしてどんな話なら浮かないかというと、だいたいベビー雑誌か女性雑誌に書いてあるような事。本当は私たちの生活に密接な関係があり、チエルノブイリ事故の後では赤ん坊連れた人たちが真っ先に牛乳の買いだめに走らせたあの原発問題は、ベビー雑誌のどこを探しても載っていないのです。

フリーライターをしている人から聞いたのですが、雑誌は広告のスポンサーからの収入によって支えられている面が強いので、スポンサーの嫌う内容、特に原発問題などは載せられないのだそうです。グラビアページは広告がとりやすく、特にスポンサー好みの紙面になるとか。良い記事を書いて発行部数を伸ばすより広告をいっぱいといった方が収入面

で安定するので、せつかく良い特集を考えて

用意しても、大手メーカーのベビー用品の広告がとればそのページまるまる差替えになるなんていうこともよくあるそうです。だから、企業のイメージに合わない原発特集なんていうのはダメ。

もし多少なりとも問題提起になるような話題を載せるとすると、後ろの方の白黒ページに目立たなく載せる程度とか。そうか、だから「あんふあんて」が雑誌の取材を受けても載るのはいつも後ろの白黒ページなのか！でも、原因はスポンサーだけでなく、そういった記事を嫌う読者にもあるのでは？自分の子どもの発達ばかりでなく、もっと広い目で先を見なければ、しつべ返しを食らうのは結局私たち自身なのですから。

このコーナーは、チエルノブイリを忘れてしまふのではなくいつも自分達の問題として考え話し合っていきたいからという会員達の願いから、あえて毎号載せてきました。でも、このところ反響が少ないうえです。時が経つと忘れてしまふのか、原発なんて考えたくないという会員が増えたのか？でも、原発に疑問の人も、やっぱり必要じゃないかと思う人も、もっと別のエネルギーがいらないかと思う人も、これからのこころで考え合いませんか？（川崎）

★原発を考えるきっかけとして、

「90年の原発止めよう大行動」（仮称）

4月28日(土) 日比野公会堂

4月29日(日) 日比野野外音楽堂
詳しくは四月号で！

夜は何時頃寝ているのかを知りたいですわ。私は自宅で仕事をしており、仕事と育児とのバランスについて思案中。（井出）

●他に、保育園、幼稚園のこと。性関係を含む夫とのつき合い方など。

◎編集や集まりの企画などやってみませんか。◎井出さんのテーマと同じような内容が他に何通かありました。皆、一日の限られた時間の中で四苦八苦しているようですわ。―そこで、先月号でもお知らせしましたが「一日の使い方」のテーマで六月号の会報で特集することになりました。井出さんがアンケートを作り、皆の一日の家事・育児・睡眠・自分の時間等の使い方をきいたりしています。（アンケートの内容については一・二月号十二ページ参照）入会後半年の人には回答用ハガキ同封しました。又、一日の仕事のこなし方、時間のつくり方等の意見や感想も井出さんまで寄せて下さい。〆切は三月末日。

前号の会報で公民館へ子連れママのサークルを作りたいと言ったら、「子どもの機もてきなにくせに」と言われ怒ってしまった私のその後、報告します。

黒磯市

とにかく横の連絡、根まわしに努めました。家庭学級で一緒の方の家へ行ったり、Tee1したりして、「同窓会を作ろう」という気運を高めてゆきました。出るクギは打て、という地域性の中、うずくまっていた皆が、解き

放されてゆくような感覚がありました。あんふあんての会員の八角さんがピラを書き、もう一度公民館へ働きかけたら、「コピーをして配りましょう」と言ってくれました。地域活動に馴れている方が「自分が司会をしましょう」と申し出てくれました。

家庭学級の最終回の日、同窓会についての話し合いを持つことができました。公民館から一方的に与えられるものを受け身で聞いているだけでなく、自分達の意見を出しあってみるだけで会を作ってゆきませんか」と呼びかけたところ、家庭学級の参加者全員が同窓会への参加を希望。皆の意見でこの会を、ひよこの会」と命名。幼稚園へ入園の子どもを抱えるママさんが多いためとあえうは今年の三月いっぱいまでをひと区切りとすることなどその他とんぴようしに決まってきました。

びつくりしたなあ。ガレージセールをやってみようという私の単純な発想、働きかけから一時的なものにせよ子連れのママのサークルができてしまったなんて。子連れママっていうのは社会から隔離されて生活してるところがあるので、皆が日常生活の中で考えることをはき出すことのできる場にしてゆきたい。あんふあんての皆様、ひよこの会」のこれからアドバイスありましたら教えてください。手さぐり状態、これからどうしたらいいのかわからないというのが本音です。



泊ってきました!

秋川

ミーティング



秋川の冬はキビシイ!今度は夏に行きたい。

小金井市

雨のち晴。寒い。一月十三日。立川 昇島
であんふあんてっばい人と次々合流しながら
武蔵五日市着。子供と女の群れは、冬色の景
色を見ながら秋川荘へと歩く。

部屋は1Fの大広間と2Fの小部屋を使用。
1Fは、それがふすままで三つに分かれている
(①②③としよう)。着いてすぐ自己紹介。
そして二人一組になり、三分間ずつ相手を取
材(仕事のことを中心に)、その後相手になり
きって自己紹介、みんなから質問を受け、や
っぱりなりきって答えるというのをやった。
ゲーム感覚があつて、これがけっこう面白い。
自分じゃない人が自分の気持ちを結構言いあ
ててくれたり、と。(コレ、他己紹介という)
その後、風呂に入る人は入って食堂で夕食。
一泊二食2千900円にしてはしっかりと内容
で満足。そのあとは次々と子供を①②で寝か
せ、③はお酒係吉崎さんたちが酒屋にたのん
だビールやワイン、おつまみがドカン。夜の
話は、みんなでこれからのあんふあんてにつ
いて。なんて話は、したかな?もう一年以

上も夫とセックスがないとか、安原さん(高
校の家庭科非常勤講師)の性教育のレジェメ
ユニークでとてもあったか)のこととか、子
供の話になり、いのがあんふあんてっばい
ふすまの向うでフンギヤーとひと声あがると
親が行くというの同時進行。2Fでは十才
位組の岸 ちゃん等がかつてのあんふあ
んてっばい。ジュニアの同窓会で盛り上がった様子。
翌日は、せつかくだからと寺(山の上にあ
る)へ数人で足をのぼす。根が上にある珍し
い木まで見て、ちよつと観光気分。
大人十七名、子供十八名の冬の旅でした。

子どもも多いに解放感を味わう

国分寺市

「ママとつきあうなんていやだな」なん
ていながらついてきたけれど、子どもは子
どもどうし。大人がおしゃべりに夢になっ
ていると、おねえちゃん、おにいちゃん達と
おぼけ屋敷ごっこ。夜も子ども達だけでおや
すみなさい。大人の目のない解放感をあじ
わったのではないかしら。
飲みすぎ、寝不足の大人をしりめに朝から
秋川へ散歩に出かけ氷をわたりたり石をひろつ
たり。

本当に子どもは風の子。「とつても楽しか
ったね、ママ」。こんどは子づれ、ババづれ
であそびたいわ。



秋川荘 午前時半の反省

東村山市

しゃべり過ぎて、あごがだるい。精神的に
露出症みだから、まわりの話題も、性欲・
セックス・避妊・中絶だったし、ついついの
つてしまったな。へ出席しなかった人の為
に注産婦人科医から受けたショックのエビソ
ードをしゃべりまくった。あんふあんてっばい
進行は流れにまかせる、全体の結論は出さな
い、と私は理解の良いところは、とりあえ
ず話したくうずうずしている人間に場が与
えられることだけれど、もう少し全体でお話
したかったな。朝まで生テレビのムー
ドで。確か、食事前の自己紹介段階では、「
夫」と「仕事」がテーマとなるはずだったの
に、ビールで乾杯したら、それぞれ近辺で小
グループになってしまつて、そして、そのま
ま終わってしまった。皆で話せそうな話題を
提供できればよかったけど……。それにして
も、大山さんの「あんふあんて」を始めた頃
の話がひかっていたな。メンバーが仕事を
持つていて、夜、電車をつかって子連れで集
まったこと。他に話す場がなく、皆、一生け
ん命だったこと。半分以上が離婚したこと。
すごく、パワフルだったみたい。十数年前の
先輩方の姿を想像して、皆、わてしまったか
らもう休もうかな。話し合いができる事、期
待して来年も、くるだろうな。きつと。
後記・次の日は、お寺と、かの有名な「宮崎
勤」家を見学した。最初から最後まで、皆の
世話をしてくれたスタッフの皆さん大山さん
本当にお疲れさまでした。



情報コーナー

★マザーズ・インクが託児をします!

板橋区

「遊眠社」の三月の公演からやつとOKに
なりマザーズ・インクが託児をします。あま
り安くはないけれど人気がある所です。気
持のよい人達なので良い仕事ができそうです。
演目:劇団夢の遊眠社「半神」
チケット料金:4000円(税込、全席指定)
託児サービス:東京公演、土曜7時と日曜2
時の公演に限り託児。要予約
(1才以上12才以下、子供一
人につき託児料2000円)
公演地:シアターアプル(新宿)
日程(東京公演の託児日のみ抜粋)
3/25、31、4/1、7、8、9、20
問合せ:☎

劇団夢の遊眠社

★花見だ 花見だ、みんなあつまれ!!

野川公園お花見ツアー参加者大募集

そこそこ桜の名所の多い多摩地区ですが、
桜の木の数よりも、子供も大人もののびのびで
きる所を選びました。いちばんきれいに咲
いてる木の下を陣取って盛り上がりましょう。
土曜なのでお父さんの参加もよいですね。

●4月7日(土) 雨天中止

●野川公園管理事務所(売店の所)前集合
●行き方:JR三鷹駅南口よりバス、4番の
りばから朝日町行か車返団地行で野川公園入

口下車、またはJR武蔵小金井駅北口よりバ
ス、6番のりばから調布駅北口行で野川公園
一之橋下車(このバス停の方が売店まで近い)
●11時半集合。お花見弁当(いつもより気持
ちだけその気分のもの♡)、水筒持参、ちな
みに野川公園にはビールも売っています。
●連絡は、事務局か高野

★手づくり工房「たまねぎくらぶ」

日常を大切にしながら、ちよつとした工夫
ですてきなくらぶをしてみたい。そんな気持
ちで「たまねぎくらぶ」と名前をつけました。
たまねぎくらぶでは手づくり教室のほかに、
くんせいパーティーやパーティー、○○シア
ーなども企画したいと考えています。

●入会金 ¥100 ●月謝 ¥500 ●材料費は
実費 ●子連れOK ●月一回 第1 or 第2
月曜日 ●たまねぎ通信 ¥300(6ヶ月分)
みんなで、楽しい会にしましょう!

★埼玉の人、高崎線沿線の人、幼稚園に興味
ある人、みんな集まれ!!

五月号で幼稚園特集をやることになったの
をきっかけに、上尾近くのメンバーが集まっ
ています。話も盛り上げてきたので、一度沿
線の人みんなに声をかけて集まることにしま
した。あんふあんての仲間ってどんな人?と
思う人、ぜひ会いましょう。

3月13日(火) 10時半~12時 (会場費300円)
上尾コミュニティセンター(上尾西口徒歩)
参加申込や集合場所は、前日までに電話で。

★「さくらんぼ坊や」のビデオ上映会

子どもの成長をじっくりとらえた映画です。
年齢別に分かれているので、今後何回かに分
けて上映会をし、我が子のことも含めて話を
しましょう。アニメ「木を植えた男」も上映。
日時:4月3日(火) 11時~12時半
場所:都婦人情報センター教室(飯田橋セン
トララプラザ15F)子連れで見ましょう!
申込:3月28日(木)までに事務局へ(安原)

★沖縄・女たちの「昭和」

これは、那覇市首里公民館で行われた女性
史講座の内容を、受講した沖縄女性史を考
える会」のメンバーが中心になってまとめた
もの。沖縄県のあるふあんて会員二人のうち
の一人、大畑 さんもこの本の編集メン
バーです。

講座では、沖縄という文化的にも歴史的に
も独特な地域の中で、女性たちが「昭和」と
いう時代をどう生きてきたかを、紡績女工や
辻(チージ)の女たちのこと、幼児教育、フ
イリビンの戦争、復帰運動等の視点からそれ
ぞれ考えており、それをメンバーがまとめ、
ワープロで打ち、やつと完成したようです。
沖縄のことを書いた本はいろいろあつても、
「本土」からの視点だったり、女性の生き方
にまでは考えが及ばなかったりしているよう
で、沖縄の女性たちのなまの姿を伝えるこの
本はとっても貴重。ぜひ多くの人に読んで
ほしいなと思います。(川崎)

◎この本は、資料代として1000円で入手
可能。問い合わせ先は女性史を考える会代表
賀数

事務局から

●四月から会費が変更になります。(半年分3000円、一年分6000円)未納分のある人は、三月分まで月額4000円で計算して振込んで下さい。先払い分はこちらで計算しなおします。

●福岡の渡辺さんから、会報作りや地方の人の編集参加について意見が来しています。会員数が減っているだけでなく、仕事を始める人が増え、切手はりに動ける人がほとんどいないのが実情。どうやら皆が直接あんふあんににかかわれるか、考えてね。

ヘスケジュールメモ

3月12日(月) ミーティング (中野区会館)
3月15日(木) 切手はり (事務局)
3月24日(土) 土曜あんふあんに (神楽坂)
4月2日(月) 4月号送付作業 (神楽坂)
4月3日(火) ビデオ上映会 (飯田橋)
4月7日(土) お花見 (野川公園)

『密室育児からの脱出』

「ただいま子育てまっさいちゅう」好評です。お友だちにも勧めて下さい。
定価1000円(会員価格800円)
送料260円もそえて申し込みを

『お産サイドブック』

定価600円(会員価格500円)
送料210円(こちらどうぞ)

編集メンバーから

●通信教育で校正を勉強中です。三月中に修了する予定。実戦力がつくまでにまだ勉強期間が必要ですが、広島で出来る校正の仕事を御存知の方、教えて下さい。(野々村)

●私を除く三人はともて意欲的で、パワフル、資格試験を受ける人、バイト口を探す人など刺激を十二分に受けている。息子も春になると幼稚園に行くし何か始めるぞ!? (西村)

●久しぶりに、まとまった文章を書きました。ワープロも購入したことだし、次は新聞にでも投書しようかなあ、と考えているのですがなかなか実行に移せない私です。(長谷部)

●言いたいことはもつとあったはずなのに、後悔もしていますが、とにかく書きました。皆さんいろいろお世話様でした。これからもよろしく願います。(堀)

●今回の特集には東京に住んでる広島出身の西塔さん、呉市の長代さん、遠い福山市の西川さん、会員以外の鶴飼さんとみなさんの協力を頂きました。ありがとう。

○ 昨年私はドーム保存募金をした。ドームやその他戦争の傷跡をみつめながら、戦争とはそう云う恐ろしいことなのだと言ひ伝える為に、国の政策を決める人を選挙によって選べるが、国を動かす人の中に自分自身も入っていると自覚し、一票を投じたい。

○ 今回は広島県の会員の担当でしたが、他の地方の方も編集してみませんか。(福野)

☆当会について詳細を知りたい場合、封書にて、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し切手四百円分(なるべく少額切手で)を送って下さい。宛先は表紙上段に記載。
☆入会希望の場合は、なるべく六ヶ月(二千四百円)以上まとめて郵便局の振替口座で払い込みを。口座番号は表紙上段に記載。なおTELもお忘れなく。
☆事務局の電話受付は原則として月々金曜の1時から3時半です。御協力を。
☆会費の振り込みを忘れていた方は至急振り込みを/休会、退会も必ず連絡をください。